	資産見返運営費交付金	4,164,506	②　当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：10,870,455,834円 （業務費：10,714,074,717円、一般管理費：156,381,117円） イ）固定資産取得額：4,164,506円
	資本剰余金	0	
	計	10,874,620,340	

③　平成21年度交付分

区分		金額	内訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	141,552,333,867	①　費用進行基準を採用した業務：運営費交付金を財源としたすべての業務 ②　当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：153,336,670,646円 （業務費：143,210,177,643円、一般管理費：10,126,493,003円） イ）支払利息：1,446,121円 ウ）リース債務支払額：76,149,837円 エ）自己収入に係る収益計上額：6,518,294,310円 （受託収入：2,359,644,866円、開発投融資収入：91,860,441円、寄附金収益：62,143,956円 入植地事業収入：10,966,396円、移住投融資収入：72,557,687円、雑益：2,191,664,924円 受取利息：98,433,567円、貸倒引当金戻入：1,631,022,473円） オ）固定資産取得額：662,957,041円 （備蓄物資：191,975,909円、差入保証金：708,322円、建物：78,711,081円、構築物：3,539,190円 機械装置：10,228,955円、車両運搬具：201,336,018円、工具器具備品：175,792,502円、商標権：665,064円） カ）差入保証金計上額：20,383,485円 ③　運営費交付金振替額の積算根拠 原則として固定資産売却益を除いた自己収入を優先的に充てることとし、不足分を収益化しております。
	資産見返運営費交付金	662,957,041	
	資本剰余金	20,383,485	
	計	142,235,674,393	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成19年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	477,847,409	○運営費交付金債務残高の発生理由は、やむを得ない事由等により翌事業年度に繰り越したもの及び前渡金、前払費用等に計上したもの。 ○当事業年度に実施すべき業務の未達成による運営費交付金債務の翌事業年度への繰越額はない。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定である。 ○運営費交付金債務残高のうち、特別業務費の残高は187,547,369円である。
	計	477,847,409	
平成20年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	4,081,991,103	○運営費交付金債務残高の発生理由は、やむを得ない事由等により翌事業年度に繰り越したもの及び前渡金、前払費用等に計上したもの。 ○当事業年度に実施すべき業務の未達成による運営費交付金債務の翌事業年度への繰越額はない。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定である。 ○運営費交付金債務残高のうち、特別業務費の残高は254,886,767円である。
	計	4,081,991,103	
			○運営費交付金債務残高の発生理由は、やむを得ない事由等により翌事業年度に繰り越したもの及び前渡金、前払費用等に計上したもの。